

平成30年度実施分

# 協働事業 市民活動助成事業

## 事業報告



松戸市

## はじめに

松戸市では、「豊かで活力ある地域社会の実現」をめざして、市民及び市民活動団体、民間事業者と市による「協働のまちづくり」を推進しております。

その支援として、市民活動団体・民間事業者の活力を活かし、市と事業の企画から実施までを協力して行う「協働事業提案制度」と、新たな市民活動の立ち上げや既存の活動を発展させる「市民活動助成制度」があります。

### 【協働事業提案制度】

協働事業は、市民活動団体や民間事業者と行政のそれぞれが強みの部分を活かし、身近にある地域課題の解決に向けて、協力して実施する事業です。

協働事業提案制度は、市民活動団体や民間事業者が、協働事業を提案し、市と協力して、その事業を企画し、実施する制度です。

平成 30 年度は 3 事業実施しました。

### 【市民活動助成制度】

新たな市民活動を立ち上げるため、又は、既存の活動をさらに発展させるための事業に要する一時的な資金を助成することで、市民活動の活性化を図り、豊かで活力ある地域社会の実現に貢献することを目的とします。

新しく事業を立ち上げるときや、今行っている事業を発展させたいときに提案できる「スタート助成（助成上限額 10 万円）」と、既存事業を拡大、発展させたいときに提案できる「ステップアップ助成（助成上限額 30 万円）」の 2 つの部門を設けております。

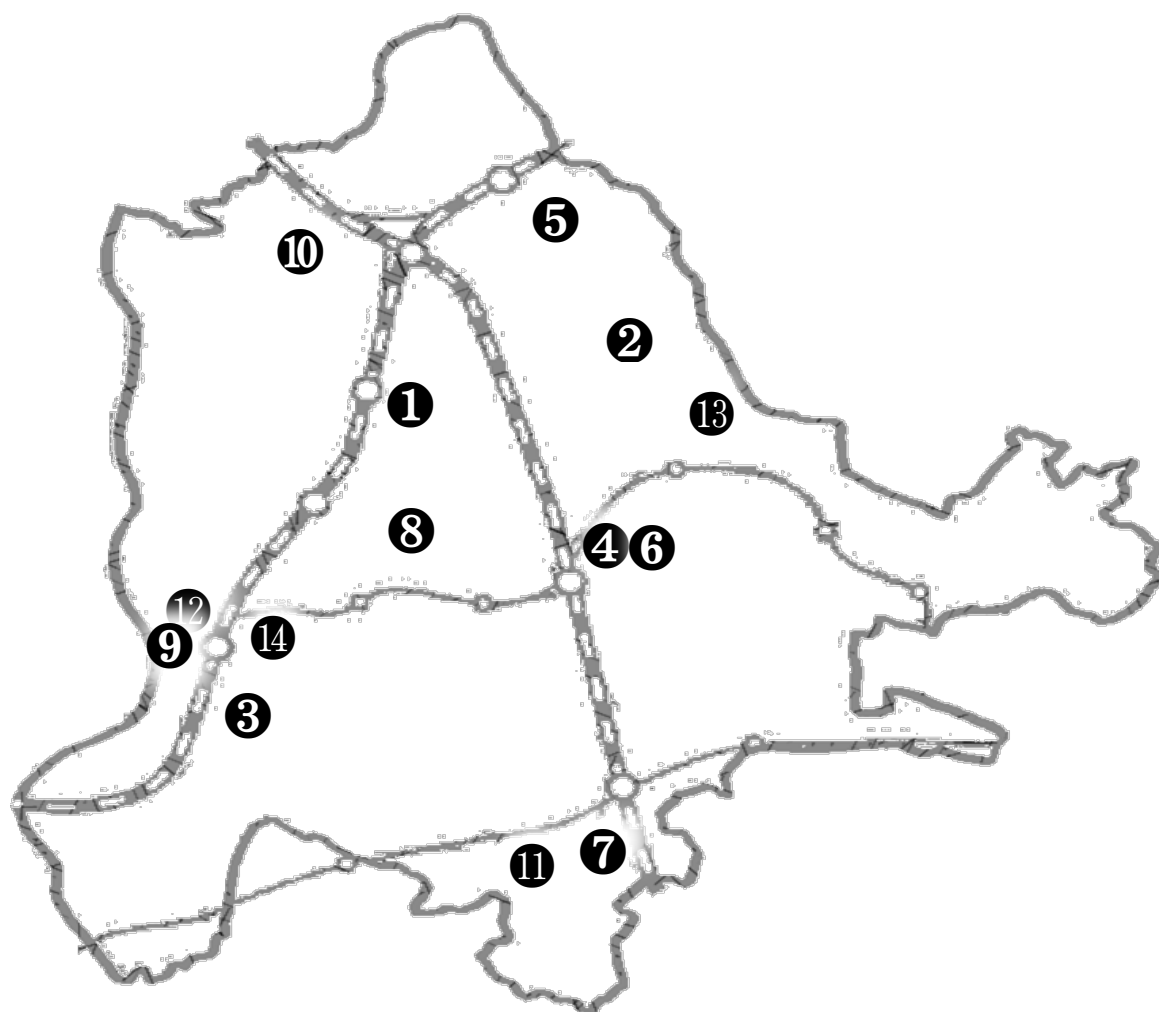
平成 30 年度は 11 事業（スタート助成 10 事業、ステップアップ助成 1 事業）実施しました。

# 目 次

## 平成30年度協働事業・市民活動助成事業 事業紹介

【協働事業】		ページ
○ 子どもたちがつくる青少年会館居場所事業	だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会 生涯学習推進課 青少年会館	1
○ 災害時要配慮者支援事業	小金原連合町会防災部 危機管理課	2
○ 公共サイン改善事業	公共サイン研究会 都市計画課	3
【市民活動助成事業（スタート助成）】		
○ こども福祉フェスタ事業	Familink*	4
○ 食を通じての多世代交流事業	小金ほのぼの食堂の会	5
○ 笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業	浅間台笑劇研究部	6
○ 「甚左衛門の森」保全育成事業	松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」	7
○ 世代を超えた交流ができる地域コミュニティの場をつくる事業	明地区こあら食堂の会	8
○ 地域猫ってなんだろう？野良猫トラブルなくそう事業	動物福祉団体いのち	9
○ 音楽活動によるまちの活性化事業	松戸合唱まちづくり同好会	10
○ 無塩パン普及事業	数値調理会	11
○ 子供の居場所からの発信による地域ネットワーク構築事業	さくら広場の会	12
○ シニア世代生き生き地域資源マップ作り事業	ほっとする街を考える会kinari	13
【市民活動助成事業（ステップアップ助成）】		
○ 「笑顔のお節介推進活動」事業	介護・認知症の家族と歩む会・松戸	14
● 協働のまちづくり基金について		15
● 協働のまちづくり基金 寄附者一覧(平成30年度)		16

# 実施団体の活動拠点MAP



	団体名	活動拠点	ページ
協働事業	① だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会	馬橋	1
	② 小金原連合町会防災部	小金原	2
	③ 公共サイン研究会	松戸	3
市民活動助成事業	④ Familink *	常盤平陣屋前	4
	⑤ 小金ほのぼの食堂の会	小金東平賀	5
	⑥ 浅間台笑劇研究部	常盤平柳町	6
	⑦ 松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」	高塚新田	7
	⑧ 明地区こあら食堂の会	松戸新田	8
	⑨ 動物福祉団体いのち	本町	9
	⑩ 松戸合唱まちづくり同好会	新松戸南	10
	⑪ 数値調理会	秋山	11
	⑫ さくら広場の会	根本	12
	⑬ ほっとする街を考える会 kinari	金ヶ作	13
	⑭ 介護・認知症の家族と歩む会・松戸	松戸	14

子どもたちがつくる 青少年会館居場所事業	団体名	だいすき松戸！子ども フェスティバル実行委員会
	事業担当課	生涯学習推進課 青少年会館

事業費	213,106 円	自己資金	23,106 円	負担金	190,000 円
-----	-----------	------	----------	-----	-----------

### 平成30年度（2018年度）事業の取り組み【報告】

協働事業2年目として、体験を通じて子ども同士がつながる取り組みへの必要性に応えるよう、以下の3つを目的に事業を実施しました。

（1）小学生同士のつながり・仲間づくりを目指す「サンマ（時間・空間・仲間）」の提供

（2）子どもに関わる担い手育成による持続的なコミュニティ形成

（3）青少年会館という拠点を核とした世代間交流

事業の1つ目の柱である「子どもに関わる担い手育成プログラム」では、脱出ゲームを体験して、小学生向けに自分たちで企画するプログラムを中高生・学生対象に開催し、企画・実行しました。

「子どもとの体験プログラム&ロビーワーク」は、夏休み期間（17プログラム）と、秋の文化祭・春のアートパフォーマンス祭りに向けて実施しました。夏休み・アートパフォーマンス向けプログラム共に、昨年の協力団体から新たな団体も増え、はじめて来る子どもたちが共に取り組み、つながれるようなプログラムを実施できました。



### 平成30年度（2018年度）事業の成果

①子どもに関わる担い手育成プログラムは、7/29 青少年会館事業と連携して8月に連続して開催し、全体で延べ59名が参加しました。8/25小学生プログラムに向けての参加者は10名と予定数を上回り、中高生のボランティア7名が、打ち合わせ回数3回を重ねて準備することができました。

②子どもとの体験プログラム&ロビーワークも2年目を迎え、昨年協力いただいた団体とも積極的に良い関係・子どもたちとの関わりを生み出すことができ、延べ参加者数は458人でした。

担い手育成のユースと共に作った脱出ゲームを、居場所としての広報の中心としたところ、当日参加者は105名に達し、担い手と子ども両方の面で大きな成果を上げました。

### 【団体紹介】

だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会は、市内の子どもの育ち・学びに関連するNPOのネットワーク組織です。これまで秋を中心に17回、小学生を対象にした遊びと、中学生～学生世代のボランティアマッチングをしたフェスティバルを、青少年会館と共に開催してきました。

### 《問合せ先》

だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会（松戸市馬橋 2855-407・NPO 法人子どもとまつど内）  
080-5086-4912、office@copatee.net、担当＝小熊 浩典

災害時要配慮者支援事業	団体名	小金原連合町会防災部
	事業担当課	危機管理課

事業費	646,335 円	自己資金	146,335 円	負担金	500,000 円
-----	-----------	------	-----------	-----	-----------

### 平成30年度（2018年度）事業の取り組み【報告】

- (1) 平成30年度「小金原地区防災フェア」の実施 <写真左>  
9月8日（土）、小金原体育館にて開催。参加者：約800人。
- (2) 第1回講演会の実施：シンポジウム「災害時における要配慮者支援と地域連携」  
12月1日（土）、小金原6丁目7番住宅組合会館にて開催。参加者約80人。  
基調講演「災害福祉について —西日本豪雨災害を事例として—」  
講師：名取直美さん（富士通総研チーフシニアコンサルタント）。<写真中央>
- (3) 第2回講演会の実施：シンポジウム「続・災害時における要配慮者支援と地域連携」  
3月16日（土）小金原6丁目7番住宅組合会館にて開催。参加約40人（役割担当含）  
基調講演「要配慮者支援に期待される地域連携」  
講師：須田仁さん（聖徳大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科 准教授）<写真右>
- (4) 「要配慮者支援会議」開催、「専門職部会」活動、「女性部会」活動、「避難所部会」活動、「災害福祉部会」活動を実施。
- (5) 「要配慮者の支援について」のチラシ作成：10,000枚作成。



### 平成30年度（2018年度）事業の成果

- 1 「小金原防災フェア」では、約800人の参加者の中に、知的障がい者、車イス利用、耳の不自由な人の団体、杖をついた人など、要配慮者の約20人の参加があった。
- 2 防災活動における福祉の大切さを訴求するため、シンポジウムを2回開催。  
12/1（土）、3/16（土）の開催で、合計120名の参加があり、100名の目標を達成。
- 3 要配慮者支援会議を11/19（月）、3/29（金）の2回開催し、「必要に応じて数回」の目標を達成。行政の関連部署を横に繋げることが出来た。
- 4 一般の人でも理解しやすい「要配慮者支援について」のチラシを作成。  
チラシ作成枚数10,000枚の目標を達成。

### 【団体紹介】

平成28年度に小金原連合町会（現在は小金原地区会）の中に防災部を組織し、福祉を考える必要性を具現化させている。「専門職部会」、「女性部会」、「避難所部会」、「災害福祉部」の組織化を進めており、平成30年度は、危機管理課と共に松戸市との協働事業「災害時要配慮者支援事業」を推進。

《問合せ先》 小金原連合町会防災部 松戸市小金原6-6-2 小金原市民センター内  
小金原地区社会福祉協議会内 電話／FAX：047-348-7115  
Eメール：rbwwp146@yahoo.co.jp 小金原連合町会防災部副部長 細田耕司

公共サイン改善事業	団体名	公共サイン研究会
	事業担当課	都市計画課

事業費	153,241 円	自己資金	20,919 円	負担金	132,322 円
-----	-----------	------	----------	-----	-----------

### 平成30年度（2018年度）事業の取り組み【報告】

#### ①公共サイン定期便の発行・ホームページの開設による情報発信

・公共サイン改善事業の活動について、市民に広く知ってもらい活動の裾野を広げることを目的に、松戸市の公共サインに関する情報、公共サイン研究会に関する情報を「定期便」として発信した。また、新たにホームページを開設し、日々の活動の様子や下記のワークショップの広報等を行った。

#### ②ワークショップ（以下、WSと記載）の開催

・松戸地区、上本郷地区、矢切地区の歴史や資源を活かした景観づくりのために、WSを行った。各地区のWSは、ポスター展示、座談会、まちあるき、の3部構成として開催した。

#### ③松戸市の公共サインに関する基礎資料の作成

・他都市のガイドラインの収集及び内容の取りまとめ、公共サインを身近に感じてもらえるような掲示物の作成、市内を対象としたワークショップ内でのアンケートの収集及び内容の取りまとめを行った。



ポスター展示の様子



座談会の様子



まちあるきの記念写真

### 平成30年度（2018年度）事業の成果

【目標1：公共サイン定期便の発行を年4回以上】⇒8・10・2・3月の計4回発行し、達成できた。

【目標2：WS対象地域における共通検討項目を3つ以上設定】⇒今年度WSの対象地域である松戸・上本郷・矢切の3地区共通で歴史・文化・景観という3つのテーマに基づき地域資源を把握し、今後の公共サインの在り方を探ることができた。

【目標3：各地域のWSを計3回以上開催】⇒単発のWSで終わらせずに地域の方々と様々なアクティビティを通して関係構築をすることや公共サインに関して興味関心を持ってもらうことを目的とし、ポスター展示・座談会・まちあるきの3つのイベントを組み合わせた各地域1週間程度のWSとして開催することができた。そのため、当初設定の目標以上の内容で実施することができたと考えている。

#### 【団体紹介】活動コンセプト：公共サインの改善を通して松戸のまちのジャンプアップにつなげる

単に「きれいに整える」ということを目指すのではなく、市民が松戸のアイデンティティとして認識するようなアイコンとなり、市の外へ松戸の魅力をアピールするツールとなり得るような、公共サインを通した「松戸のジャンプアップ」を目指しています。

《問合せ先》◇団体名：公共サイン研究会◇住所：松戸市松戸648 A棟3階

◇E-mail：publicsign.matsudo@gmail.com

◇ホームページ：https://matsudo-publicsign.amebaownd.com/

◇担当者名：池田 篤則（いけだ あつり）

Check! ホームページ  
のQRコードです! →



こども福祉フェスタ事業	団体名	Fam i l i n k *
-------------	-----	-----------------

事業費 132,495 円	自己資金 32,495 円	助成金 100,000 円
---------------	---------------	---------------

**平成30年度（2018年度）事業の取り組み【報告】**

在宅で生活する重度障がい児やその家族は日々のケア、生活に追われ社会活動に参加する機会が少ない現状がある。そこで、重度障がい児が普段使用する機会の少ない機器等を通じた遊びを楽しみ、新しい刺激を楽しんでいる子どもと一緒に家族やボランティアが同じ空間で遊んだり、楽しんだりできるようなイベントを開催した。重度障がい児にとって使用頻度の少ない電動移動機器、除重力での運動設備等について、ほとんどの参加者が体験することができ、それぞれが新しい体験を経験できた。医療職、教育職、福祉職等各分野からボランティア協力いただき、市内外問わず多くの支援者が参加することになり、広く知識や経験を共有できた機会となった。

開催日時：平成30年7月8日（日） 場所：松戸市健康福祉会館（ふれあい22）3階



**平成30年度（2018年度）事業の成果**

団体が掲げる「家族と一緒に出かけ、兄弟や友達と一緒に遊ぶ、ほかの家族や仲間とつながる」という理念と活動内容・目的は合致していた。市内外問わず注目いただいたイベントは多くの参加者及びボランティアから高い評価を受けたことより、本事業の目的は達成されたものととらえられる。

企画段階で会場都合上、相談・講演・展示のブースを減らし、主に体験型ブースの設置運営にシフトする変更はあったものの、当初の「10ブース以上の設置、150名以上の参加」という数値目標についても「10ブース設置、313名の参加」を得て達成された。

**【団体紹介】**

わたしたち「Fam i l i n k \*」は、「家族みんなで一緒に過ごす」をテーマに障がいを持ったお子さんとその家族が、当たり前前に経験することを当たり前前に行えるよう地域社会に向けて発信をしています。

《問合せ先》

団体名 : F a m i l i n k \* 住所 : 松戸市常盤平陣屋前 15-2 スマイルぷらす松戸内  
 電話 : 047-393-8866 FAX : 047-393-8877  
 Eメール : familink2017@gmail.com ホームページ : @familink.chida (facebook)  
 担当者名 : 中村信夫、高木秀明、寺原由佳里、川野晃裕



食を通じての多世代交流事業	団体名	小金ほのぼの食堂の会
---------------	-----	------------

事業費 337,700 円	自己資金 247,700 円	助成金 90,000 円
---------------	----------------	--------------

**平成30年度（2018年度）事業の取り組み【報告】**

- 食堂の開催
  - ・ 子どもからお年寄りまで多世代に渡り、どなたにでも来て頂ける「多世代食堂」を開催
- 学習・実習・イベントの実施
  - 【学習・実習】
    - ・ 日常的に食堂の際に実施
  - 【イベントの実施】
    - ・ ハーバリウム教室とおやつ開催
    - ・ 写真展【食】の開催
    - ・ ほのぼのバーベキューの開催
    - ・ 認知症サポーター養成講座の開催
- リサイクル活動（無料）（不定期で実施予定）
  - ・ 食堂開催時に、子ども服の無料リサイクル活動の実施



2018年12月19日のメニュー  
(おかわり自由)

**平成30年度（2018年度）事業の成果**

- 食堂開催について
  - ・ 開催数：22回
  - ・ 延べ参加者数：1,550名（大人680名、子ども437名、未就学児433名）
  - ・ 1回平均：大人：32人、子ども（小学生～18歳）：19人  
と目標値（大人：25人、子ども：10人）を上回ることが出来た。
- 学習・実習・イベントの実施について
  - ・ 開催数：4回
  - ・ 延べ参加者数：115名（大人70名、子ども45名）
  - ・ 1回平均：29名（大人18名、子ども11名）  
と目標値、募集定員（10～30人）の9割以上の申し込みを達成することが出来た。

**【団体紹介】**

子どもからお年寄りまで多世代に渡り誰にでも来ていただける「多世代食堂」です。人それぞれが感じる喜びや幸せを、食堂という場を通じて感じて頂きたいと願い、支え合い 助け合いの中から生まれる<こころの安らぎ>を想う会、参加者も運営者も、みんなの笑顔を願う会です。

《問合せ先》

【団体名】 小金ほのぼの食堂の会  
 【電話】 080-6585-1568      【Eメール】 kogane\_honobono@yahoo.co.jp  
 【ホームページ】 <https://koganehonobono.com/>      【担当者名】 安達 里季（代表）

笑劇で施設利用高齢者を 元気にする事業	団体名	浅間台笑劇研究部
------------------------	-----	----------

事業費 125,182 円	自己資金 25,182 円	助成金 100,000 円
---------------	---------------	---------------

**平成30年度（2018年度）事業の取り組み【報告】**

■事業の実施内容

**1. 高齢者施設でのボランティア公演**

・松戸市内の高齢者福祉施設で10回のボランティア公演を実施した

**2. 新プログラム（台本）を開発した**

・台本名：古今東西名場面集2018 “リバイバル”

**3. 高齢者施設で演じられるように定例会で稽古を継続実施した**

・稽古回数：16回

**平成30年度（2018年度）事業の成果**

1. 事業目的の達成について

- 計画時の事業の目的  
笑劇（Musical）の公演により、施設利用高齢者を元気にすること
- 達成状況  
10回の公演を通して計画時の事業の目的は十分達成できた。  
各施設とも割当の1時間で、前座でバルーンアートと詩吟を、メインとして笑劇公演を行ったが、非常に反応がよく大いに楽しんで頂いたことが実感できた。



2. 具体的成果

事業の課題	評価対象	コミットメント	実績
多く公演する	公演回数	6回以上	10回
多くの人に見てもらう	延べ観客数	200名	436名
新プログラムの開発	開発数	1本	1本
練習を多く行う	練習回数	12回	16回

**【団体紹介】**

千葉県生涯大学校浅間台教室の卒業生・在学中で2016年に発足した団体で、高齢者福祉施設で笑劇を演じ、多くの方に笑って頂き、喜んで頂き、そして元気になって頂くことを目的としています。

《問合せ先》

- |                |                                 |
|----------------|---------------------------------|
| ■ 代表者 部長 砂永 宏  | ■ 住所 松戸市常盤平柳町 8-21              |
| ■ 連絡先 幹事 神原 頼男 | ■ Eメール y-kambara@mx7.ttcn.ne.jp |

「甚左衛門の森」保全育成事業	団体名	松戸里やま応援団 「甚左衛門の森の会」
----------------	-----	------------------------

事業費 133,556 円	自己資金 33,556 円	助成金 100,000 円
---------------	---------------	---------------

**平成30年度（2018年度）事業の取り組み【報告】**

松戸里やま応援団の1グループとして甚左衛門の森で定期的な森林の保全活動を行っている。雑草木・竹藪の刈払・伐採作業、立枯れ・倒木の除去をし、観察・作業道の整備、周辺柵の整備をしている。森の敷地内に不法投棄された粗大ゴミ等を、みどりと花の課の協力を得て、市回収車による特別回収を年2回実施した。こうした森林の保全活動を通して、樹木や生物の多様性の維持・回復をはかることで森林の環境保全や景観の形成に寄与できる。

4月には森を一般見学者に公開するオープンフォレストの開催。当森では初めてであったが、親子連れの人達等、25人の見学者があった。

6月には森林・山村多目的機能発揮対策交付金活動団体のための安全研修会を当森で実施。千葉県内の各市からの参加者も含め約40名。チェーンソーを使った大径木等の安全な伐採方法や機器の使用方法を学んだ。9月には森の入り口に広報用の掲示板を当会員で自製し設置した。

10月は台風により生じた倒木等が今年は特に多く、道路周辺に出た枝等の除去とあわせ集中的に処理した。

11月には樹木の密度、竹林の除去伐採状況について千葉県里山協議会の確認調査を受けた。また、市川しみどりと花の基金メンバーが来森、森と当会の活動の紹介をした。12月には千葉県森林課職員が来森、当森を視察した。



森のオープンフォレスト



玉切り前の倒木の引き倒し



不法投棄ゴミの撤去と森内ゴミ出し

**平成30年度（2018年度）事業の成果**

1. 月2回の定期活動で雑草木の刈払い、不要樹木の整理などで森の中がかなり明るくなってきている。不要な樹木の伐採は目標通り約0.2ha、竹林も本数で約500本（いずれも森全体の約30%）を達成している。
2. 希少植物（キンラン、ギンラン、ヤマユリ等）のエリアを定め、保全のための柵を作った。
3. 当会の活動を紹介したチラシを作成し市内各所に配布した。
4. 4月にオープンフォレストを開催し、多数の来場者があった。
5. 森の入り口から中央の広場までの通路は整備を完了した。さらに遊歩道を作成する計画。

**【団体紹介】**

東松戸駅から徒歩15分の高塚新田地区の約0.9haの森（甚左衛門の森）で2017年7月から保全活動を始めた。里やま応援団の他の森と比べると、未整備の森ですが現在10名の会員で月2回の定例活動を行っている。

《問合せ先》

代表 村井行雄 電話：047-342-6261 FAX：（同左） e-mail：muraiyukio0727@tb3.so-net.ne.jp

<p>世代を超えた交流ができる地域 コミュニティの場をつくる事業</p>	<p>団体名</p>	<p>明地区こあら食堂の会</p>
--	------------	-------------------

<p>事業費 262,948 円</p>	<p>自己資金 162,948 円</p>	<p>助成金 100,000 円</p>
----------------------	-----------------------	----------------------

**平成30年度（2018年度）事業の取り組み【報告】**

参加した人がまた来てくれるような食堂を作るため、提供する食事は栄養バランスを考慮することはもちろんのこと、バラエティーに富んだ献立にするようにしました。

また、食事だけでなく、居心地の良い場所となるように、毎月異なったイベントを実施し、来てくれた人が楽しめるように工夫を凝らしました。

「リーフレットの作成と配布」

食堂をより多くの人に知ってもらえるように広報ツールとして500部を作成。

食堂の雰囲気や伝えられるように写真を中心にレイアウトをしました。

みらいフェスタブース出店の際にこあら食堂に興味を示してくれた方を中心に50枚程配布しました。

また、毎年、その年にご寄付くださった方、協力してくださった方を対象とした、こあら交流会の案内に同封して発送しました。



☆みんな一緒に ごはんを食べます ☆夏休みイベント（水ヨーヨー釣り）☆ランチプレート（クリスマス）

**平成30年度（2018年度）事業の成果**

数値目標に関しては毎月1回開催（年12回）、各回30名以上の参加があり、当初の数値目標であった30名を達成しています。

また、「参加した人がまた来てくれるような食堂をつくること」という目標に関しても、参加者の半数はリピーター（2回以上参加）であり、子育て、地域の事、一人暮らしの事など、毎回相談される参加者も多く、事業目標は達成したと言えます。

**【団体紹介】**

こあら食堂は年齢、世代を問わず、誰もが集うことのできる場所です。

みんなで食事をして、お話ししたり、遊んだり、勉強したり、思い思いに過ごせる場所。

どなたでも大歓迎です。こあら食堂は地域のみんなの居場所です。

**《問合せ先》**

明地区こあら食堂の会

TEL : 090-1999-5232 FAX : 047-702-7308

メール : koalasyokudou@gmail.com

ホームページ : http://koala.wp.xdomain.jp/

担当 : 石塚



Facebook

<b>地域猫ってなんだろう？ 野良猫トラブルなくそう事業</b>	団体名	動物福祉団体いのち
--------------------------------------	-----	-----------

事業費	124,337円	自己資金	24,357円	助成金	100,000円
-----	----------	------	---------	-----	----------

**平成30年度（2018年度）事業の取り組み【報告】**

市職員でも知らない人が多い「地域猫活動」の周知普及映画上映会を行った。松戸市議会議員5名が市民との意見交換会に登壇した。松戸市で実現化してほしい野良猫施策アンケートに30名の有効回答を得た。現在松戸市民が最も求める施策1位は周知広報であった。



実現化してほしい施策	順位	値※
周知広報	1位	1.8
不妊手術補助金増額	2位	2.1
登録ボランティア	3位	2.2
その他	4位	3.5

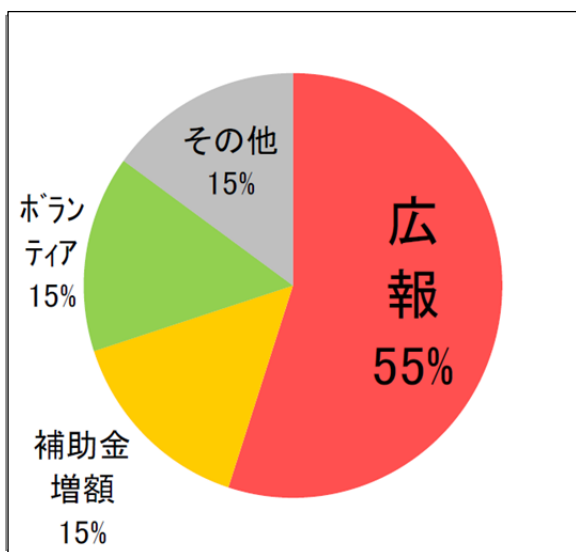


図1 松戸市に実現してほしい野良猫施策案（構成比）※実現してほしい順で集計点数を回答数で除した値

**平成30年度（2018年度）事業の成果**

200名の来客数を設定し48名と市民集客数は目標1/4の達成に留まるも松戸市議会議員5名が登壇、政治家にも地域猫活動周知普及が重要市課題と認知された。市民が更なる広報を望んでいると判明した。

**【団体紹介】**

2013年5月～人間と動物の幸せな共生をめざし、啓発活動を行っています。

**《問合せ先》**

動物福祉団体いのち 090-8500-9439 inochi.shiawase@gmail.com  
<https://inochi-shiawase.jimdo.com/> 担当者：木村

音楽活動によるまちの活性化事業	団体名	松戸合唱まちづくり同好会
-----------------	-----	--------------

事業費 136,811円	自己資金 36,811円	助成金 100,000円
--------------	--------------	--------------

**平成30年度（2018年度）事業の取り組み【報告】**

福祉施設を利用している地域の高齢者や障害者を対象とし音楽活動（合唱）を媒体にして「元気と勇気を届ける」と共に「健康寿命の延伸」を手助けして、まちの活性化を目的とする。  
 また、合唱を通じて地域との交流を深めると共に部員相互の親睦を図り充実した人生を送ることを目的にしています。

クリスマス会、皆さんと歌おう

楽しく元気に、歌って 踊って



**30年度（2018年度）事業の成果**

ボランティア活動（施設訪問）	年間 19回	お客様数 延 739人	参加部員 延 290名
地域活動（公民館ホール）	年間 1回	お客様数 148人	参加部員 21名
活動合計	年間 20回	お客様数 延 887人	参加部員 延 311名

施設利用者さんが喜ばれていることで、我々も楽しく元気になります。  
 活動回数、人数共 当初目標に未達でしたが、  
 活動回数20回は多忙な部員が協力できた成果であり、満足しています。

**【団体紹介】** 千葉県生涯大学在校生、卒業生、松戸市民、で構成する合唱団体です。  
 市内の福祉施設等を訪問し合唱を通じて地域との交流を行い、まちの活性化を図っています。  
 また歌唱力向上を目指し練習を行い成果発表の場として音楽会の開催やコンサート等に出演し、部員相互の親睦を深め充実した人生を送ることを目的としています。

《問合せ先》

団体名 : 松戸合唱まちづくり同好会      住所 : 松戸市新松戸南1-391  
 電話・FAX : 047-344-7173      Eメール : hamamatsu60@yahoo.co.jp  
 担当者 : 鈴木 孝侑      携帯電話 : 090-3332-8094

無塩パン普及事業	団体名	数値調理会
----------	-----	-------

事業費 165,692 円	自己資金 65,692 円	助成金 100,000 円
---------------	---------------	---------------

**平成30年度（2018年度）事業の取り組み【報告】**

**背景：**英国の社会実験結果から、塩分を半減した減塩パンを食べて脳卒中や心臓発作による死亡率が1／4に減少することが証明され、減塩パンは先進的な健康食品といえることが分かっています。しかし、松戸市内で無塩パンや減塩パンを購入するに通信販売を利用しなければならず、高価な買い物になります。高齢の年金生活者にはとても毎日続けられません。

**活動：**そこで、家電製品のパン焼き機を使って無塩パンを自作しようと活動を始めました。プロのパン屋さんからも無理と言われておりましたが、ちょっと鼻薬を効かせれば、チャンとした格好で、味も十分に食べられるも健康食品になりました。

**対象：**誰でも健康志向する人が対象ですが、実際には内臓疾患を経験して始めて減塩に真剣に取り組む方が多いので、必然的に 高齢者が多くなっています。

**普及：**無塩パンをご希望する方と一緒に試食する会を毎月（第4土曜日昼食時に）、まつど市民活動サポートセンター調理室で開催しております。無塩パンの食べ方を学ぶと言いながら、月替りに惣菜を用意して、オシャベリと食事を楽しんでいます。毎日無塩パンを食べる人数が増えております。どなたでもお気軽にお申込み下さい。次回試食会からご案内致します。



**平成30年度（2018年度）事業の成果**

**成果：**試食された方は 1年間に128名に達しました。

減塩パンを作る人は5名になりました。

年間で350斤製造いたしております。

**健康：**会長個人情報ですが、減塩食開始2年で最高血圧が15mmHG減少し、大変喜ばしいことです。

**【団体紹介】**

名称 : 数値調理会

狙い : 男女共同参画社会の第1歩として家事（炊事）作業の性別分担平準化。

《問合せ先》

団体名 : 数値調理会

住所 : 〒270-2223 松戸市秋山 227-2

TEL : 090-9295-1387

FAX : 047-330-8163

E-mail : shinkairei@hb.tp1.jp

担当者名 : 岩崎 滋（しげる）

子供の居場所からの発信による 地域ネットワーク構築事業	団体名	さくら広場の会
--------------------------------	-----	---------

事業費 130,956 円	自己資金 30,956 円	助成金 100,000 円
---------------	---------------	---------------

**平成30年度（2018年度）事業の取り組み【報告】**

＜取り組みもうとする松戸市のテーマ（課題）＞

近年、核家族化やひとり暮らし世帯の増加、価値観、生活習慣の多様化により、住民相互の交流は希薄化してきています。親戚や地域からの援助が得にくい場合には、子育て世代の親と子供双方にとって大きな心の負担になります。子育て中の親は孤独感を感じやすく、子供は家庭や学校以外で心置きなく話ができる機会が減った結果、支援や見守りが必要なケースの発見が遅れる場合があります。また高齢者も同様に、社会からの孤立が進んでいます。

＜事業の目的＞

- ・親/子供たちと地域住民（特に高齢者や商店街）の交流を図り、子供たちと地域の大人の皆さんとの間で、自然発生的な相互扶助が生まれ、地縁的な地域社会の教育力を向上させる。
- ・地域の色々な方が、子供たちと関わることで、子供たちのコミュニケーション能力や自己肯定感の向上を目指す。

＜実施内容＞

- ①高齢者向けの体操教室を3回開催
- ②小学生主体の工作教室8回開催、大人向け工作教室2回開催
- ③地域のお店をまきこんだ食育活動2回開催
- ④自然エネルギーと環境の勉強会1回開催



**平成30年度（2018年度）事業の成果**

- ①体操教室 目標 2回開催、参加者30人→結果 3回開催、参加者14人
  - ②工作教室 目標 10回開催、参加者100人→結果 10回開催、参加者97人
  - ③食育活動 目標 2回開催、参加者50人→結果 2回開催、参加者50人
  - ④自然エネルギーと環境の勉強会 目標 1回開催、参加者20人→結果 1回開催、参加者16人
- 今まで「さくら広場」に来るきっかけのなかった地域の方（特に高齢者）にさくら広場に来ていただくことが出来ました。新しく来てくださった地域の方が子ども達やその保護者と地域のこと・子育てについて話をするのが出来、顔が見えるお付き合いの一步を踏み出せました。

**【団体紹介】**

さくら広場は小学生や中学生が放課後や夏休みに宿題・勉強・読書等思い思いのことをして過ごせる居場所です。平日は毎日、14時～19時まで賃貸の部屋を借り開放し子供達と共に過ごしています。料金は1回300円。会員制ではなく予約も不要です。

《問合せ先》

団体名：さくら広場の会      住所：〒271-0077 千葉県松戸市根本5-9 秋谷ビル3F  
 電話：080-5454-0726      Eメール：nimuratakae@gmail.com  
 ホームページ：<https://sakura-hiroba.jimdo.com/>  
 担当者：二村 崇園



シニア世代生き生き地域資源マップ作り事業	団体名	ほっとする街を考える会 kinari
----------------------	-----	--------------------

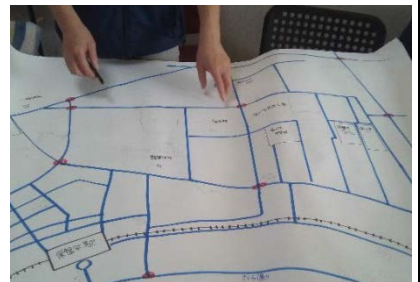
事業費 81,030 円	自己資金 23,030 円	助成金 58,000 円
--------------	---------------	--------------

**平成30年度（2018年度）事業の取り組み【報告】**

少子高齢化の進展は、金ヶ作地区においても例外ではなく、地域活動の担い手が減少し、活気がなくなってきています。

地域が活力を失わず、住民が豊かに生活を送るためには、新旧住民が相互理解を深め、地域資源や課題を共有していくことが重要と考えました。地域資源の共有・課題の明確化を目的に、地域資源マップを作成することとし、情報収集・交流の場作りとしてイベントを4回開催し、延べ49名の参加がありました。

地区の民生委員や地域包括支援センターの職員も加わり、日頃から活用している社会資源やシニア世代が使うマップとして何を地図に記載するかなど、活発な意見交換を行うことができました。その過程で参加者が地域の資源を再認識することが出来、ニーズの把握もすることができました。また、参加者同士の交流の機会となり、顔の見える関係が少しずつ広がってきています。



**平成30年度（2018年度）事業の成果**

- ・金ヶ作地区の社会資源（現にある資源）の確認、ニーズ把握ができました。
- ・イベントを4回開催し延べ49名の参加があり、目標の45人を達成することができました。
- ・住民同士の顔が見える関係作りのきっかけとなり、日常的な挨拶や言葉掛けをする関係ができました。
- ・シニア世代生き生き地域資源マップを完成することができ、参加者や地域包括支援センター等に配布しました。今後は、完成したマップを活用した街歩きイベント等を開催し、住民同士の交流の機会を作っていきたいと考えています。

**【団体紹介】**

みんなが自分らしく暮らせる街を実現するために、地域住民や他の団体との連携を通して地域のコミュニケーションのハブ・拠点作りに貢献することを目的として活動しています。

地域の居場所・情報発信の場として毎週土曜・日曜の10:00~16:00までサロンを開催しています。

《問合せ先》

ほっとする街を考える kinari

〒270-2251 松戸市金ヶ作 419-2 テラス五香C号 コミュニティカフェ Ch0shiYa 内

E-mail : [hot.kinari@gmail.com](mailto:hot.kinari@gmail.com) Facebook : <https://www.facebook.com/kinari> 担当者 : 堀井

「笑顔のお節介推進活動事業	団体名	介護・認知症の家族と歩む会・松戸
---------------	-----	------------------

事業費 281,647 円	自己資金 81,647 円	助成金 200,000 円
---------------	---------------	---------------

**平成30年度（2018年度）事業の取り組み【報告】**

＜事業内容＞

地域における人の繋がり・互助の復活の必要性をアピールし、笑顔で暮し続けられる街づくりを目指し活動してきました。

みんなが気軽に寄り合える「おしゃべり広場」に始まり、気心の合う人達同士の「地域交流会」から「公開相談」に、極めて個人的で複雑な事は「訪問相談」に展開を想定していましたが、現実には「訪問相談」からのスタートも多く、今後の活動への指標になると考えています。

＜事業実績＞

事業名	開催数	参加者数
おしゃべり広場	11回	39人
地域交流会	7回	36人
公開相談	5回	13人
訪問相談	41回	135人
地域パートナー養成講座	9回	80人
認知症講座	7回	82人



※上記の他に、周辺地域市民との連携を念頭においた広域フォーラムを実施しました。

事業名	開催数	参加者数
広域地域パートナー養成講座	4回	182人（松戸市民41人）
福祉フォーラム	1回	720人
市民活動立ち上げセミナー	2回	36人

**平成30年度（2018年度）事業の成果**

事業名	参加者数		実施回数	
	目標	実績	目標	実績
おしゃべり広場	60人	39人	12回	11回
地域交流会	60人	36人	12回	7回
認知症講座	90人	82人	6回	7回
地域パートナー養成講座	60人	80人	6回	9回

「地域交流会」と「おしゃべり広場」は介護中の方の参加が多かったです。介護度が重い人のご相談・問い合わせが多くなり、周囲に知られる恐れもあったことから「訪問相談」が多くなりました。集合住宅以外にも、22軒の一戸建て個人宅への訪問相談を行いました。講座等の参加者目標を達成することはできませんでしたが、個々人の相談に直接対応することができ、当初の計画以上の達成があったと自己評価しております。

**【団体紹介】**

笑顔で安心して、暮し続けられる地域～生活圏～づくりのお手伝いや、個人と向き合う活動  
《問合せ先》 介護・認知症の家族と歩む会・松戸

松戸市松戸 1139-1-808 電話：090-5509-5398 Eメール：ao31212@s6.dion.ne.jp

# \* 協働のまちづくり基金 \*

平成 30 年度は 市民活動助成事業

11 事業 を応援しました!!

スタート助成				
こども福祉フェスタ事業 P. 4	食を通じての多世代交流事業 P. 5	笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業 P. 6	「甚左衛門の森」保全育成事業 P. 7	世代を超えた交流ができる地域コミュニティの場をつくる事業 P. 8
地域猫ってなんだろう？野良猫トラブルなくそう事業 P. 9	音楽活動によるまちの活性化事業 P. 10	無塩パン普及事業 P. 11	子供の居場所からの発信による地域ネットワーク構築事業 P. 12	シニア世代生き生き地域資源マップ作り事業 P. 13
ステップアップ助成				
「笑顔のお節介推進活動」事業				P. 14

## 【 協働のまちづくり基金とは 】

市民、市民活動団体、事業者の皆様から寄せられた寄附金及びその同額を市費で積み立てるマッチングギフト方式を取り入れた基金です。この基金がまちを明るく元気にする「市民活動助成制度」の原資となっています。

市では、皆様からの寄附金のほか、チャリティー自動販売機の設置を通じて基金を育成しています。市民の皆様のご協力をよろしくお願いします。

HP 松戸市トップページ ▶ くらし ▶ 市民活動 ▶ 協働のまちづくり（市民活動の活性化と協働の推進） ▶ 協働のまちづくり基金

[http://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou\\_machidukuri/kikin/index.html](http://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou_machidukuri/kikin/index.html)

# 平成30年度 協働のまちづくり基金 寄附者一覧(敬称略)

ご寄附頂きました皆様にお礼申し上げます。

★東京キリンビバレッジ株式会社

★株式会社 八洋

★コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社

★洗濯屋あべ

※公開希望のみ掲載





令和元年5月

発行

松戸市 市民部 市民自治課

〒271-8588 松戸市根本387-5

TEL 047-366-7062

FAX 047-704-4009

E-mail [mcshiminjichi@city.matsudo.chiba.jp](mailto:mcshiminjichi@city.matsudo.chiba.jp)